

動員して、先づ来るべき第五十二議会の即時解散、新選挙法による
総選挙の実施を期する一大階級的請願運動を起すことであ
る。

無産階級的請願運動の意義は、広く民衆の署名を求め其の一大集
積をなし遂げることによって、大衆の無産階級的政治意識を喚起し、
直接我等が闘争に協力せしめるところにある。従って労働農民党
がかゝる要求の下に議会解散の請願運動を起すことは、直接には
大衆をして党の活動に参加せしめ、彼等を訓練し、やがては大衆
を黨員として獲得する所の大なる意義と効果をもたらしものである。
ある。同時に結果に於て現在單に空文として存在する普通

闘争を展開するのであって、之によつても大衆を自覚せしめ、党発展
の上重大なる機会を得るものである。

しかし、ながら、労働農民党は第三回中央本員会に於て總同盟の曰
和見主義的右翼幹部のために要求され、所謂三團體の排斥を決
議し、今や正に階級闘争の党としての本質を、小ブルジョア議会議に
まゝ、喪失せしめられんとしつゝある。従つて以上の如き重大なる任務を
遂行するためには、党を實際上構成してゐる所の、各地方支部又は
支部聯合会、並に支部組織準備会の決死的奮起と、各地方聯合会
議乃至は地方無産團體の意識的協力により、若し、實際上の実行
甚だ困難に行つてゐる。

我が日本労働組合評議会第三回中央本員会は、かゝる情勢に鑑